

# ▼▼▼ 新刊ガイド ▲▲▲

## 画家たちのパートナー

(千足伸行著)

2人の妻に生活を支えられたモネ、多くの女性に愛されたルノワール、別れた妻と劇的な復縁をしたダヴィド……。美術史家で広島県立美術館長の著者が、15人の画家の配偶者らに焦点を当て、画家との私生活上のドラマを紹介する。

王妃マリー・アントワネットに愛されたヴィジエールブランヤ、国際的な名声を博したカウフマンら女流画家のエピソードも興味深い。突出した才能で印象派の画家になったモリゾが、男性社会の中で結婚後も絵を描き続ける自分は「良妻賢母」たり得ていないので

はと葛藤を抱える姿も描かれている。

パートナーの有無や仲の良さが作品の輝きに影響を与えた、とは必ずしも言えないが、貧しい無名時代も行動を共にし、時に絵のモデルも務める家族の存在は、画家にとって大きいもの。名作の裏に隠されたエピソードを知れば、絵画を見る目が変わりそうだ。

(論創社・2640円)

千足伸行

画家たちの  
パートナー

